

報告

平成25年度病院管理研修会

常任理事・地域医療部長 伊藤 利道

昨年12月1日(日)、標記研修会が札幌全日空ホテルにおいて開催された。「平成26年度 診療報酬改定の展望」というテーマで前中医協委員の西澤寛俊先生(全日病会長)に講演していただいた。座長は北海道病院協会理事長の徳田禎久先生にお願いした。

講演の内容

〈地域医療ビジョン〉

社会保障審議会医療部会では、医療・介護サービスの提供体制の改革が行われており、病床機能報告制度、地域医療ビジョンの策定について議論されている。また、2025年の超高齢社会に向けて、どのような提供体制が望ましいのか、その時の医療提供体制はどうあるべきかという議論がなされている。

病床分類はより機能分化すべきとされている。病床機能報告では、それぞれの病棟ごとにどのような機能を果たしているかを現状報告することになっている。高度急性期、一般急性期、回復期、慢性期の4つの区分で報告すること、将来的には機能ごとに病棟を分けていこうということになっており、診療報酬改定もそれに基づいて行われる。これからは自分の病院をどういった方向に位置付けていくか、ビジョンを持たなければならない。自分の病院の位置付けを知る必要がある。

26年度改定は、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等が



西澤寛俊先生

中心になると考えている。平成26年4月から消費税が8%に上がることで、増収分の5,000億円のうち1,000億円ほどを社会保障・医療に使うよう要求している。しかし、日本の財政がひっ迫していることもあり、プラス改定は難しいという見方もある。

〈外来医療〉

高齢化の進展に伴う複数の慢性疾患を持つ患者の増加に対して、適切な対応が求められる。外来の機能分化のさらなる推進の観点から、複数の慢性疾患を有する患者に対し、診療所の主治医機能を持った医師が適切な専門医療機関等と連携することで、継続的な診療を行うことが必要である。

〈在宅医療〉

高齢化の進展に伴い、在宅医療の充実が大きな課題となってくる。

在宅医療を推進していく上で、患者が医療機関を選択するにあたり一定の制限が加えられる事例や過剰診療を行う事例が出ている。例えば、高齢者施設を新設するにあたり、特定の医師に入所者を優先的に紹介することの見返りとして、診療報酬の20%をキックバックとして要求する事例があった。これは、診療の独占契約を結んでいる可能性がある。万が一、行っている医療機関がある場合は、直ちにやめていただかないと大変な問題になり、保険医療機関の指定取り消しまで行く可能性がある。在宅療養支援診療所・病院等の要件に関する課題として、機能強化型でも緊急往診や看取りの実績の少ないところがある。実績がないのに機能強化型の高い点数を請求しているところもあり、実績がないところは機能強化型から外すよう、議論されているが、機能強化型については、厚労省との話し合いの中で数を増やしていくことが必要と考えている。

〈訪問看護〉

訪問看護は、需要が増加している。利用者のニーズとして、24時間対応・重症者への対応等が求められており、地域包括ケアにおいて中核的な役割を果たす訪問看護ステーションは、機能強化型訪問看護ステーションとして位置付けるべきと考える。

今後は、利用者のニーズに対応できるよう、地域の実情に応じた在宅医療を推進していくことが必要である。在宅患者の緊急時の受入れを地域で完結するため、受入医療機関を拡充するための評価の在り方をどのように考えていくかが重要である。

〈入院医療〉

急性期病床の担う役割を明確にするために、急性期病院における平均在院日数の短縮、患者の状態に応じた受け入れ、入院医療の提供に関する在宅復帰の推進、急性期病棟における早期からのリハビリ

テーション等の検討が大きな論点となっている。

〈ICU〉

特定集中治療に精通した医師の複数配置、十分な病床面積の確保および臨床工学技士の24時間勤務体制を条件にした考え方は、高く評価している。

〈救命救急医療〉

総合的かつ専門的な急性期医療を担う医療機関の評価については、救命救急医療として24時間体制の救急を行い、一定の実績を有する医療機関に対し、より充実した評価を行うことをどう考えるかが論点となっている。

〈大病院の紹介率・逆紹介率〉

大病院の紹介率・逆紹介率については、「紹介率40%未満かつ逆紹介率30%未満」の要件を適用し、その要件を満たせない場合は初診料を下げることになる。

以上、まだ議論の途中で非常に厳しい話ばかりである。今後は、リハビリテーションや勤務医の負担軽減、医師事務作業補助、急性期看護補助体制加算等も話題になり、そのあたりは今後評価されていくだろう。

講演終了後、受講者4名より質問があった。今回は診療報酬改定がテーマで、各医療機関の事務職員も参加されたため、参加者は323名と例年より多かった。

お知らせ

第48回北海道ドクターズゴルフ大会 開催のお知らせ（予告）

標記大会を、苫小牧市医師会の担当で下記のとおり開催することになりましたので、多くの会員にご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、開催日程につきまして、例年6月最終日曜日に開催しておりましたが、平成26年以降は7月・第1週日曜日に変更となりますので、ご予定のほどよろしく願いいたします。

記

【前夜祭】

日 時：平成26年7月5日（土）
午後6時～同8時
会 場：グランドホテルニュー王子
苫小牧市表町4丁目3-1
TEL (0144)31-3111

【大会】

日 時：平成26年7月6日（日）
午前7時スタート（予定）
会 場：千歳空港カントリークラブ
苫小牧市植苗291
TEL (0144)58-2011
競技方法：18ホールズストロークプレイ
A・B・シニア 各クラスを予定。
各クラス設定は、参加人数により
競技委員会で決定。

競技資格：北海道医師会員で公式ハンディを有するもの。ただし、公式ハンディをお持ちでない方でも、参加を受付いたします。

参加申込：北海道医報3月号または4月号附録の「参加申込書」でお申し込みください。

宿泊：宿泊の申込希望がある場合も、「参加申込書」にてお申し込みください。

問合せ先：〒053-8570
苫小牧市旭町2丁目4-20
苫小牧市医師会
TEL (0144)33-4720
FAX (0144)36-1774
E-mail ishikai@toma-med.or.jp